

前沢 5 丁目地域の減災・防災対策に関するアンケート 集計

(東久留米市社会福祉協議会による現況調査)

※一部回答を、個人が特定できないよう加工・省略したり、まとめて記載している部分があります。

前触れなく、突然訪れる災害 – あなたはどうしますか？

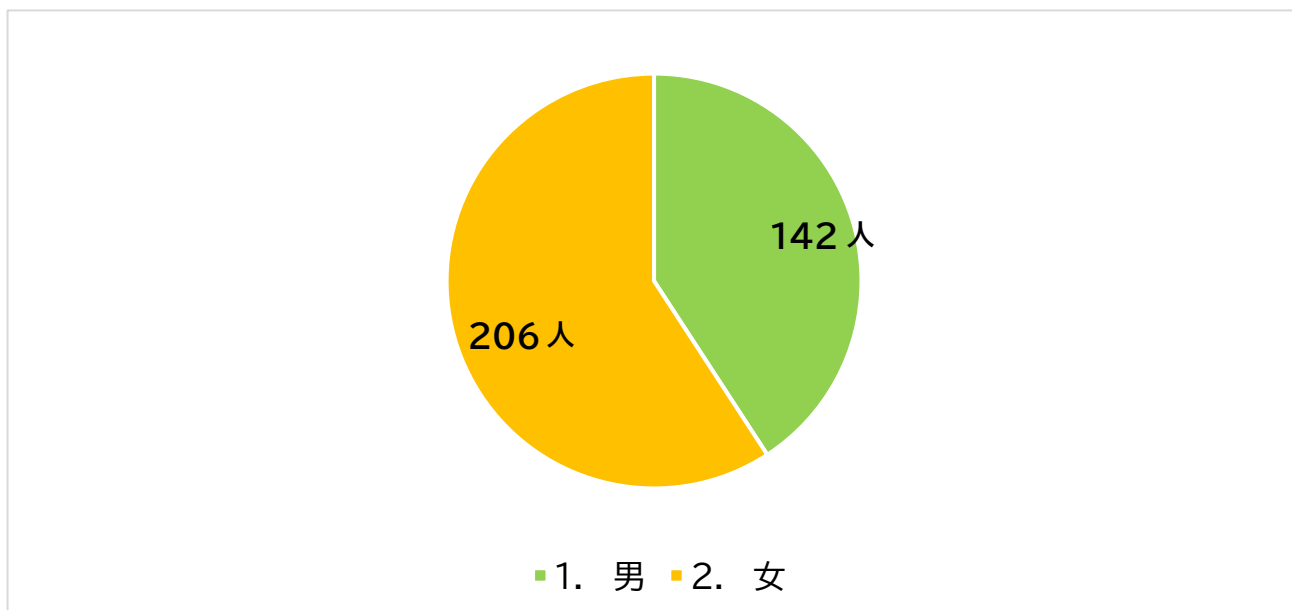
【安心して心豊かに暮らせる地域づくりにむけて】

- ・対象 前沢 5 丁目にお住まいの方 1,104 世帯
回答数 353 件、回答率 32.0%
(郵送 316 件、WEB 37 件)
- ・期間 令和 6 年 9 月 1 日(日)~9 月 20 日(金)



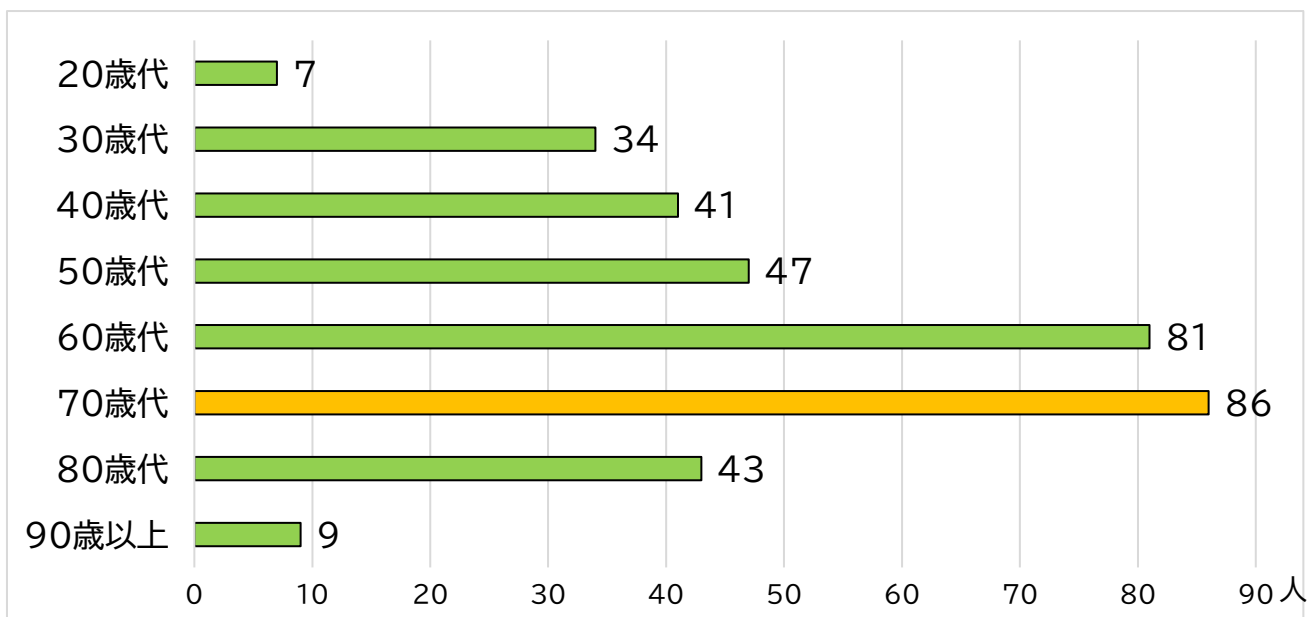
【回答者のこと】

Q1 性別



男	女	未回答	合計
142 (40.8%)	206 (59.2%)	5	353 (100%)

Q2 年齢



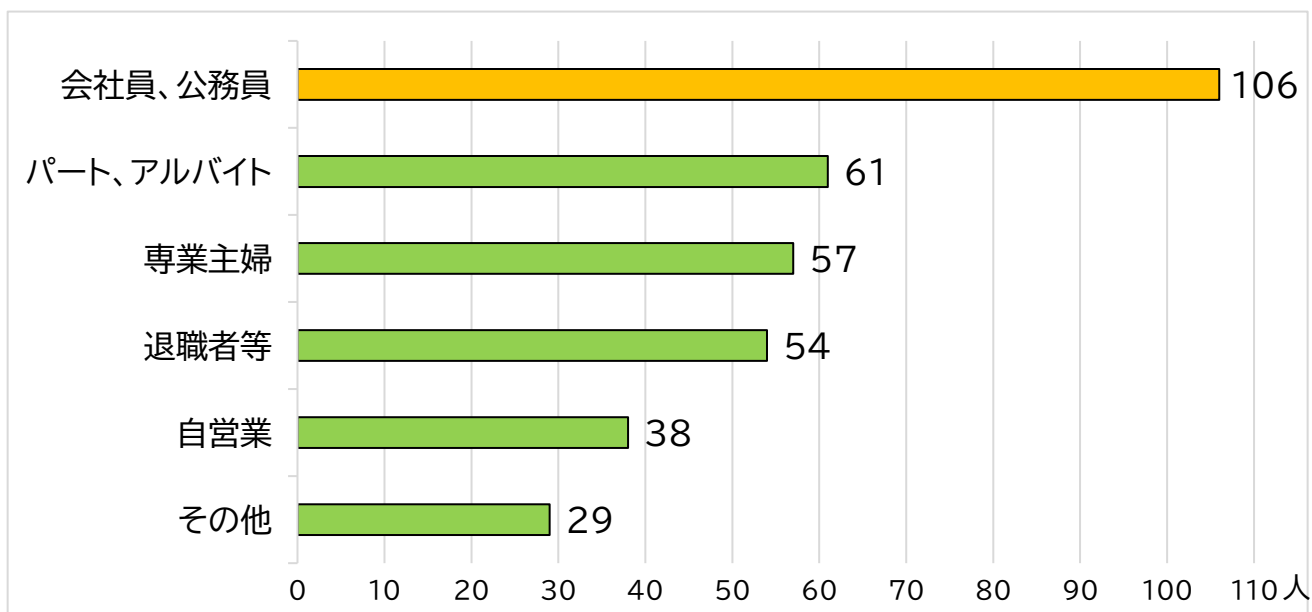
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
7 (2.0%)	34 (9.8%)	41 (11.8%)	47 (13.5%)	81 (23.3%)	86 (24.7%)	43 (12.4%)	9 (2.6%)	5	353 (100%)

◆クロス集計<Q2 年齢と Q1 性別>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
男	3	9	17	17	34	40	18	4	0	142
女	4	25	24	29	47	45	25	5	2	206
未回答	0	0	0	1	0	1	0	0	3	5
合計	7	34	41	47	81	86	43	9	5	353

▶回答者は、60歳代女性が47人で最多。次いで70歳代女性(45人)。3番目に、70歳代男性(40人)であった。

Q3 職業

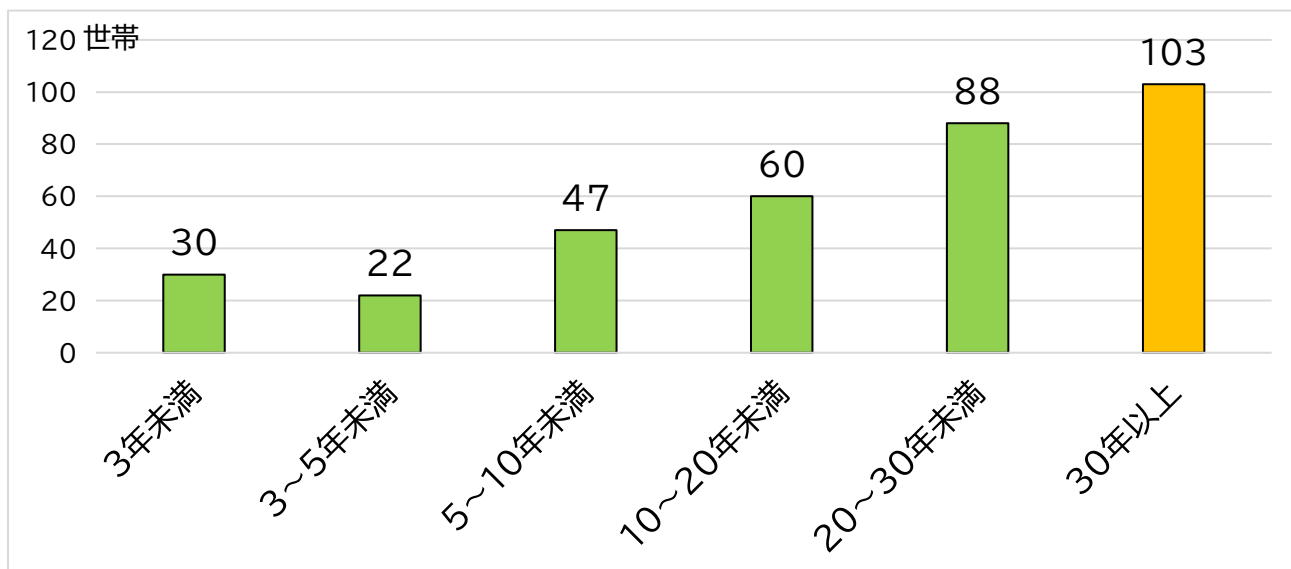


会社員、 公務員	パート、 アルバイト	専業主婦	退職者等	自営業	その他	未回答	合計
106 (30.7%)	61 (17.7%)	57 (16.5%)	54 (15.7%)	38 (11.0%)	29 (8.4%)	8	353 (100%)

(その他の回答)

無職(7)／年金生活(4)／なし(3)／アシスタント職／シルバー人材センター就業／ボランティア活動
／内職

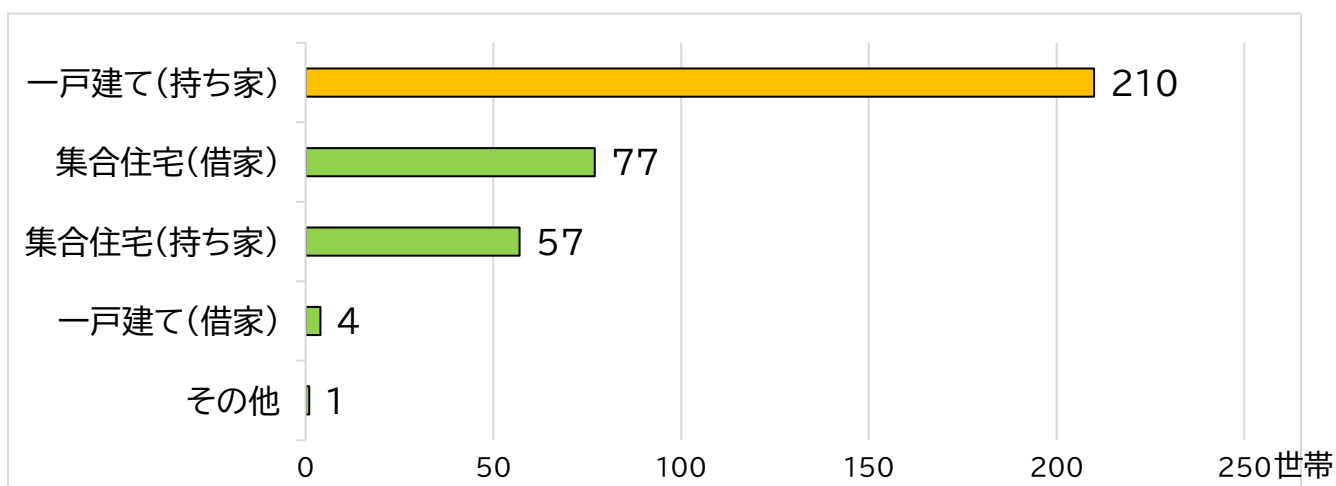
Q4 居住年数 ※現在の住まい



◆クロス集計<Q4 居住年数とQ2 年齢>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
30年以上	0	0	2	3	24	42	26	5	1	103 (29.4%)
20~30年未満	0	0	3	19	34	22	7	3	0	88 (25.1%)
10~20年未満	0	4	15	12	13	10	5	1	0	60 (17.1%)
5~10年未満	0	15	11	5	6	7	2	0	1	47 (13.4%)
3~5年未満	0	5	5	3	3	5	1	0	0	22 (6.3%)
3年未満	7	10	5	5	1	0	2	0	0	30 (8.6%)
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	7	34	41	47	81	86	43	9	5	353 (100%)

Q5 お住まいの形態



一戸建て(持ち家)	一戸建て(借家)	集合住宅(持ち家)	集合住宅(借家)	その他	未回答	合計
210 (60.2%)	4 (1.1%)	57 (16.3%)	77 (22.1%)	1 (0.3%)	4	349 (100%)

(その他の回答)

※記載なし

◆クロス集計<Q5 お住まいの形態と Q4 居住年数>

	一戸建て(持ち家)	一戸建て(借家)	集合住宅(持ち家)	集合住宅(借家)	その他	未回答	合計
30年以上 ★1	91	1	4	7	0	0	103
20~30年 未満 ★2	38	0	38	11	0	1	88
10~20年 未満	34	1	9	15	1	0	60
5~10年 未満	25	1	2	19	0	0	47
3~5年未満	9	0	2	11	0	0	22
3年未満	13	1	2	14	0	0	30
未回答	0	0	0	0	0	3	3
合計	210	4	57	77	1	4	353

※★1、★2については次ページ

◆クロス集計 ★1

<Q5 お住まいの形態と Q4 居住年数が 30 年以上と Q2 年齢>

		一戸建て (持ち家)	一戸建て (借家)	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (借家)	その他	未回答	合計
30 年 以上	90 歳以上	5	0	0	0	0	0	5
	80 歳代	25	1	0	0	0	0	26
	70 歳代	36	0	3	3	0	0	42
	60 歳代	21	0	1	2	0	0	24
	50 歳代	2	0	0	1	0	0	3
	40 歳代	1	0	0	1	0	0	2
	30 歳代	0	0	0	0	0	0	0
	20 歳代	0	0	0	0	0	0	0
	未回答	1	0	0	0	0	0	1
	合計	91	1	4	7	0	0	103

▶居住年数が 30 年以上の世帯は一戸建て(持ち家)に住む 70 歳代が最多。

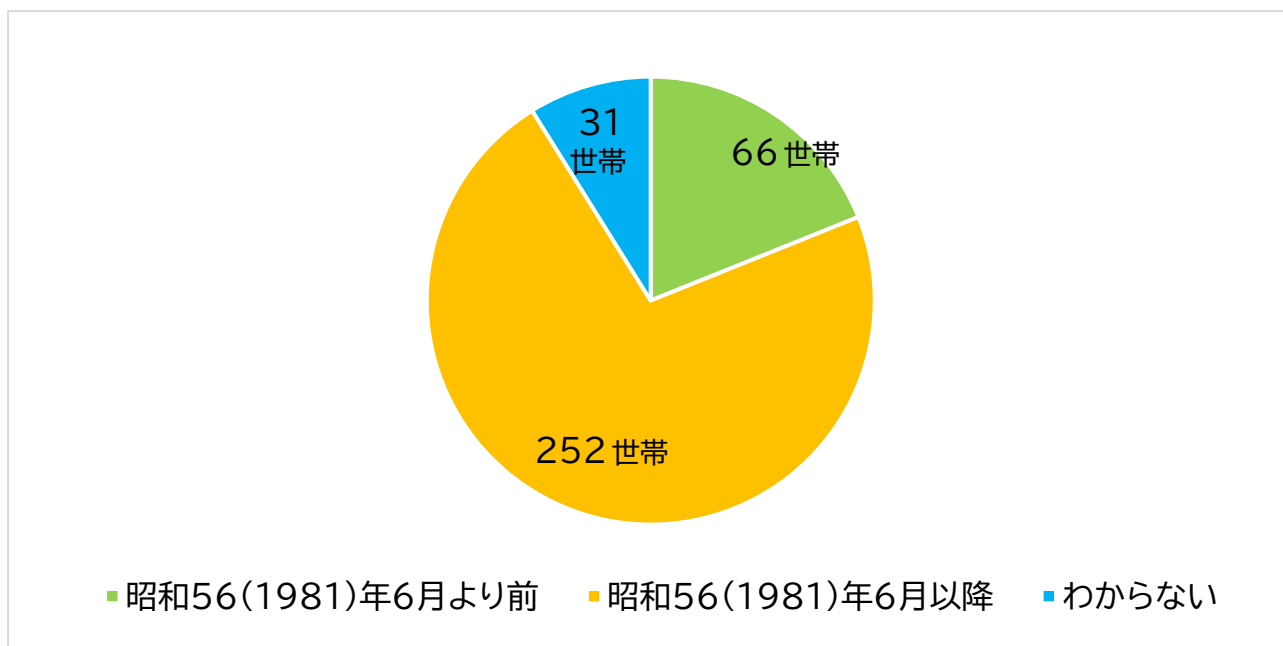
◆クロス集計 ★2

<Q5 お住まいの形態が一戸建て(持ち家)・集合住宅(持ち家)と Q4 居住年数が 20～30 年未満と Q2 年齢>

		一戸建て (持ち家)	集合住宅 (持ち家)
20～30 年 未満	90 歳以上	1(2.6%)	1(2.6%)
	80 歳代	3(7.9%)	4(10.5%)
	70 歳代	6(15.8%)	13(34.2%)
	60 歳代	16(42.1%)	16(42.1%)
	50 歳代	11(28.9%)	3(7.9%)
	40 歳代	1(2.6%)	1(2.6%)
	30 歳代	0(0%)	0(0%)
	20 歳代	0(0%)	0(0%)
	合計	38(100%)	38(100%)

▶居住年数が 20～30 年未満で、一戸建て(持ち家)・集合住宅(持ち家)に住む世帯は、60 歳代が最多。

Q6 お住まいが建てられた年



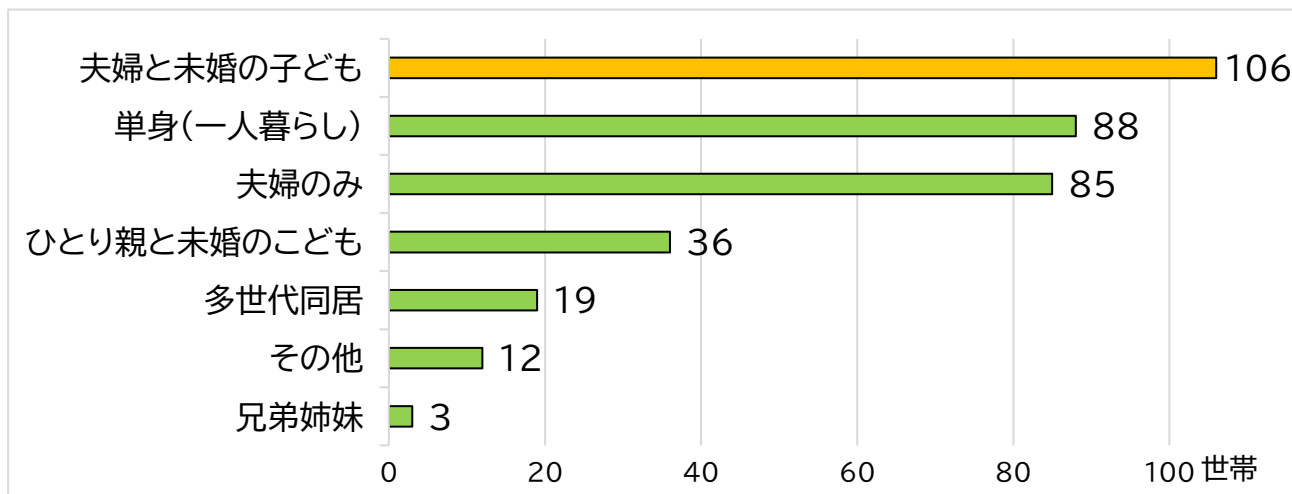
※「新耐震基準」の適用は、昭和56年6月以降に建築された建物

昭和56(1981)年6月より前	昭和56(1981)年6月以降	わからない	未回答	合計
66 (18.9%)	252 (72.2%)	31 (8.9%)	5	354 (100%)

※複数回答についてはそのまま集計しています。

【家族のことについて、お答えください。】

Q7 世帯構成はつぎのどれにあたりますか。



(その他の回答)

ルームメイト／世帯分離した家族と同居／親ときょうだい／単身と既婚の子／夫婦と親／夫婦と犬1頭

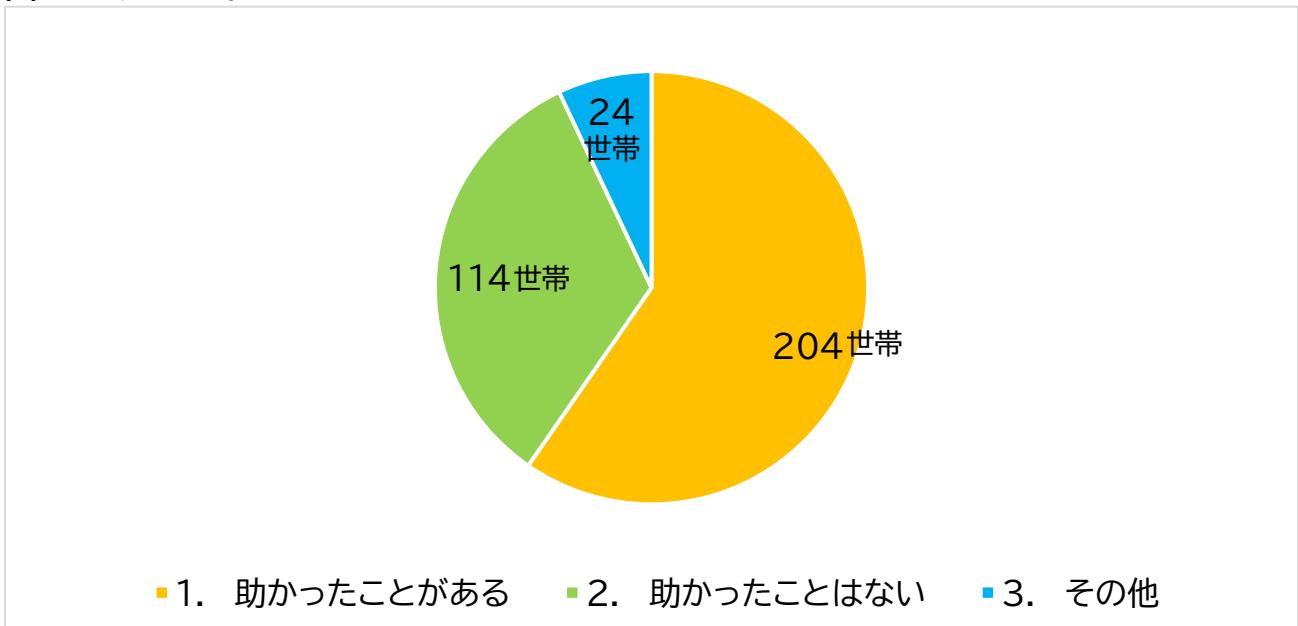
◆クロス集計<Q7 世帯構成と Q2 年齢>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
夫婦と未婚の子ども	0	19	23	14	26	15	8	0	1	106 (30.4%)
単身(一人暮らし)	3	4	8	13	16	23	17	4	0	88 (25.2%)
夫婦のみ	2	6	2	9	21	32	11	2	0	85 (24.4%)
ひとり親と未婚の子ども	0	3	5	5	8	8	5	1	1	36 (10.3%)
多世代同居	1	1	2	4	7	3	0	1	0	19 (5.4%)
その他	1	1	0	2	3	2	2	1	0	12 (3.4%)
兄弟姉妹	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3 (0.9%)
未回答	0	0	0	0	0	1	0	0	3	4
合計	7	34	41	47	81	86	43	9	5	353 (100%)

▶回答者は、70歳代の夫婦のみ世帯が最多。

【近隣とのおつきあいについて、お答えください。】

Q8 ご近所とのおつきあいがあって助かったことはありますか。あてはまる数字1つを○で囲んでください。



(その他の回答)※一部まとめています

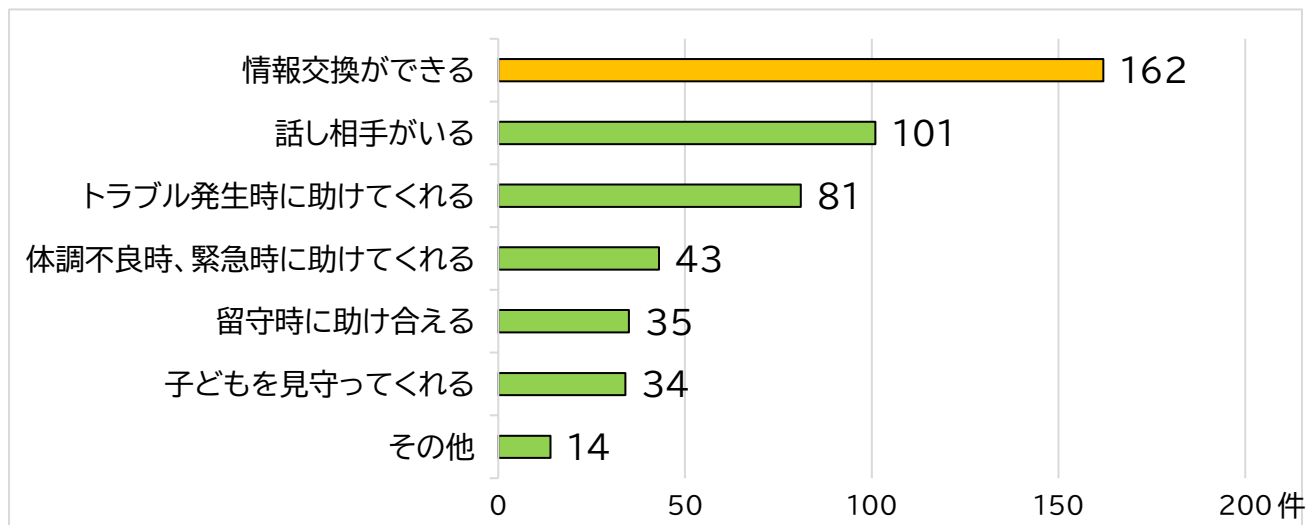
おつきあいが無い(7)／今のところない(6)／高齢者が多く、あまり顔を合わせる事が無い／助け合ったことは具体的には無いがお互い気軽に声かけの出来る間柄になっている／近所関係は新しい家をつくっているため古家が少しずつなくなっている

◆クロス集計<Q8 ご近所とのおつきあいがあって助かったことがあるかと Q2 年齢>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
助かったことがある	0	20	21	28	56	50	23	6	0	204 (59.6%)
助かったことはない	7	12	17	19	24	22	10	2	1	114 (33.3%)
その他	0	2	3	0	1	11	7	0	0	24 (7.0%)
未回答	0	0	0	0	0	3	3	1	4	11
合計	7	34	41	47	81	86	43	9	5	353 (100%)

▶30歳代～90歳以上で、ご近所とのおつきあいがあって助かったことがある、と答えた世帯の方が多かった。

Q9 ご近所とのつきあいがあって助かったことはどんなことですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。(Q8で「1.助かったことがある」に○をした方はご回答ください)



(その他の回答)

雪かき(2)／緊急時にペットを預かってもらった／子どもが家の鍵を忘れた時に、近所のお子さんが一緒に待って遊んでくれていた／飛んでいった洗濯物を届けてくれる

◆クロス集計<Q9 ご近所とのつきあいがあって助かったことはどんなこととQ1 性別>

	男	女	合計
情報交換ができる	48	109	157
話し相手がいる	32	65	97
留守時に助け合える	12	21	33
子どもを見守ってくれる	9	25	34
トラブル発生時に助けてくれる	25	53	78
体調不良時、緊急時に助けてくれる	15	27	42
その他	2	7	9
未回答	1	0	1
合計	144	307	451

▶「情報交換ができる」と回答した人が、男女ともに最多。

【日常生活について、お聞きします】

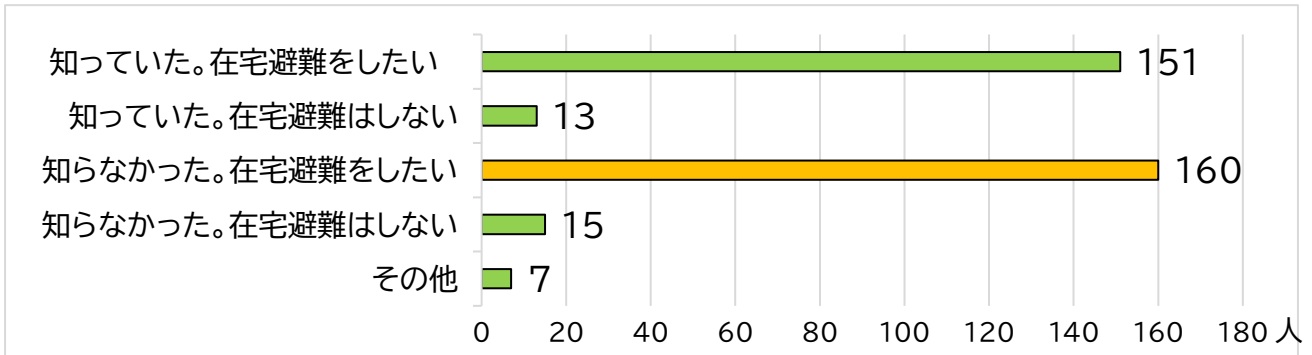
Q10 日常生活でお困りのことがあれば、ご記入ください。

全回答を、資料集 P.1～3 に掲載しています。

【防災意識・情報について、お答えください。】

(在宅避難)

Q11 市から「在宅避難」(災害発生時に自宅が安全な場合、自宅に留まる方法)が呼びかけられています。これについてご存知でしたか。あてはまる番号を1つ○で囲んでください。



(その他の回答)

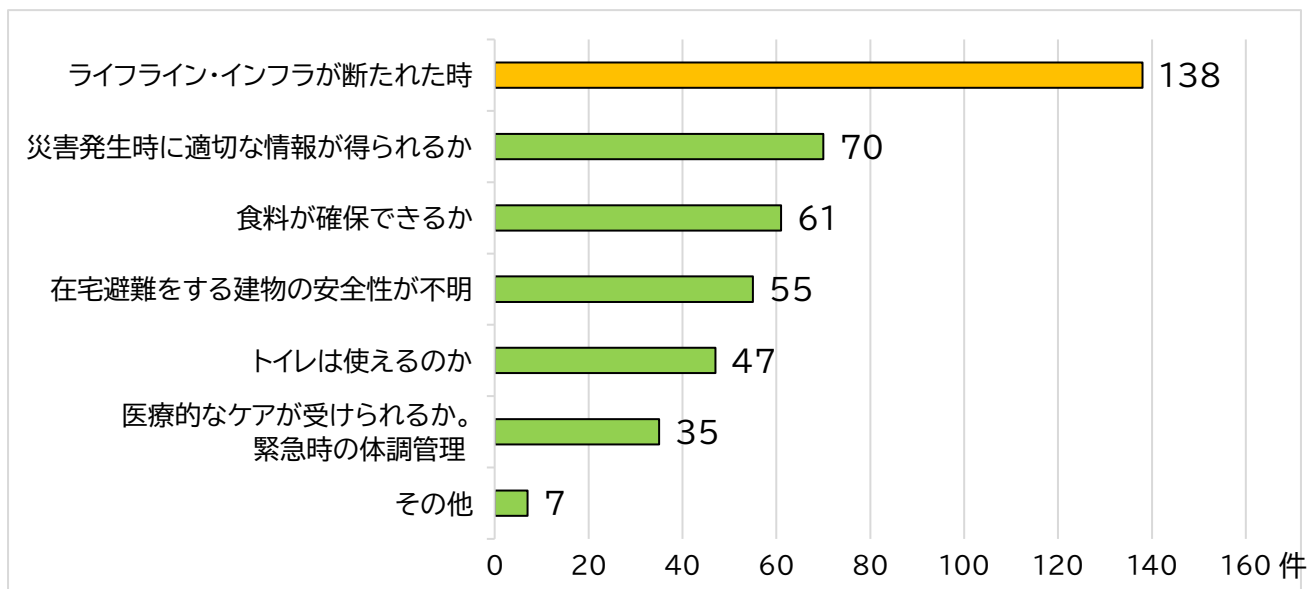
自宅から外に出る道が危険／適宜移動できるような安全な方へ避難したい／避難所の整備を進めてもらいたい／わからない

◆クロス集計<Q2 年齢とQ11在宅避難>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
知っていた。在宅避難をしたい	2	19	19	13	29	41	22	2	4	151 (43.6%)
知っていた。在宅避難はしない	0	1	1	3	1	5	2	0	0	13 (3.9%)
知らなかった。在宅避難をしたい	2	14	18	28	42	37	12	6	1	160 (46.2%)
知らなかった。在宅避難はしない	3	0	1	2	4	2	2	1	0	15 (4.3%)
その他	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7 (2.0%)
未回答	0	0	1	1	2	0	3	0	0	7
合計	7	34	41	48	81	86	42	9	5	353 (100%)

▶「知っていた」「知らなかった」合わせて、「在宅避難をしたい」と答えた人が、89.8%であった。

Q12 「在宅避難」の時に、不安なことがありますか。特に不安だと思う番号を1つ○で囲んでください。



※2つ以上の回答についてもそのままカウント

(その他の回答)

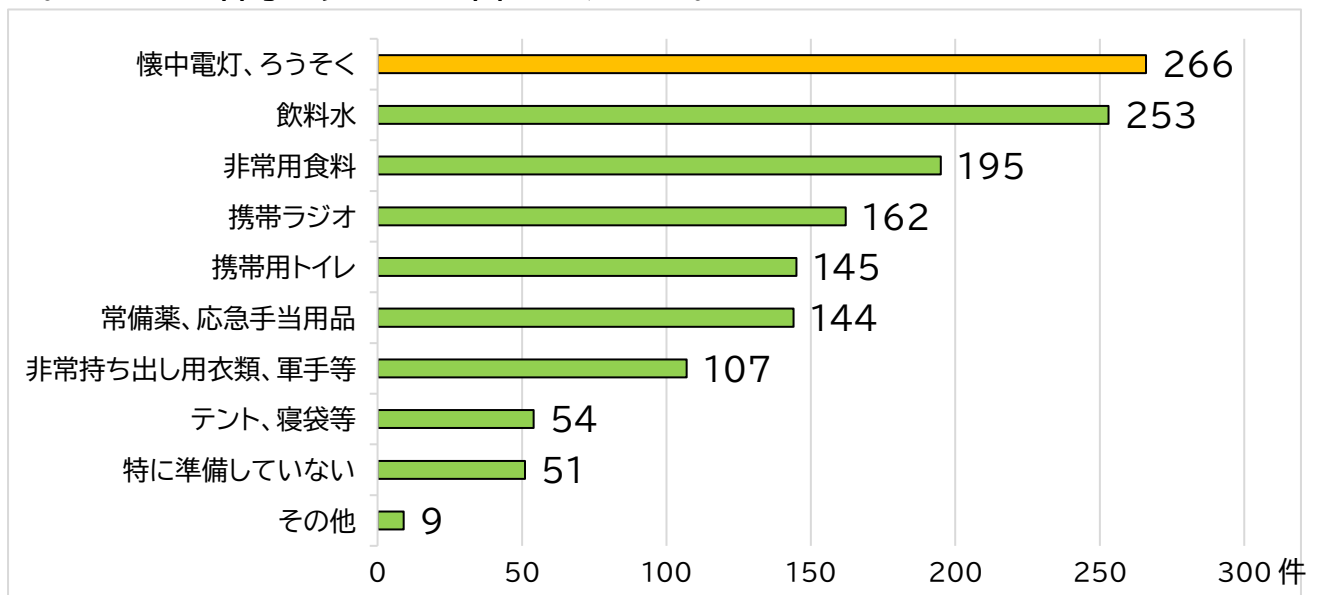
水／車いすの家族の生活確保／誰もいないと不安／自身の経験から衣食住に関し数日間は持ちこたえる
と思っています／南海トラフ地震・東京近直大地震・富士山大爆発対策

◆クロス集計＜Q2 年齢とQ11在宅避難時に不安なこと＞

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
ライフライン・インフラが断たれた時	1	17	18	21	31	31	14	5	0	138 (34.0%)
災害発生時に適切な情報が得られるか	1	3	8	7	22	18	8	0	3	70 (17.2%)
食料が確保できるか	4	7	8	10	15	9	5	2	1	61 (15.0%)
建物の安全性が不明	0	3	9	8	10	13	11	1	0	55 (13.5%)
トイレは使えるのか	1	3	6	6	14	8	8	1	0	47 (11.6%)
医療的なケア、緊急時の体調管理	0	3	3	4	11	7	4	2	1	35 (8.6%)
その他	0	0	0	1	2	2	2	0	0	7 (1.7%)
未回答	0	1	1	2	2	2	3	0	0	11
合計	7	37	53	59	107	90	55	11	5	424 (100%)

(防災対策)

Q13 あなたの家では、災害に備えて水・食料・生活必需品の備蓄などの準備をしていますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

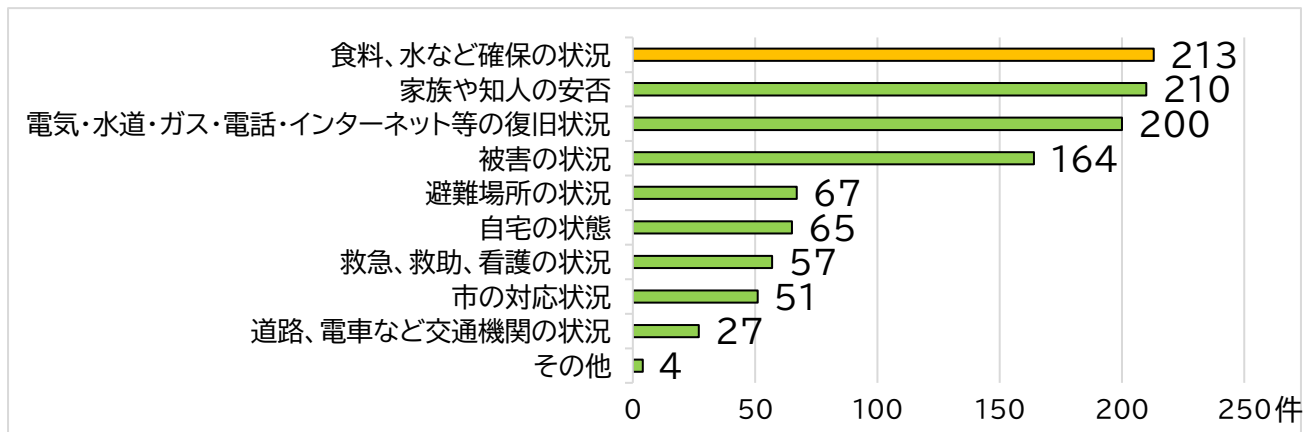


(その他の回答)

カセットコンロ・ボンベ(3)／予備電池(2)／ヘルメット／レジャーシート／防水袋／携帯用飲料水パック／飲料用以外の水／スマホ充電器／ツェルト／荷造り用紐／ガムテープ／古いスーツケースにまとめている／防寒着／下着／クッションシート／シャベル／植木ばさみ／キャンプ用いす／くつ／現金／印鑑／文具／住所録／自治体支給の防災バッグ／ゴミ袋／除菌シート／ゲームおもちゃ

(災害時の避難生活)

Q14 災害時、特に知りたい情報は何ですか。あてはまる番号を3つ〇で囲んでください。



※4 つ以上の回答についてもそのままカウント

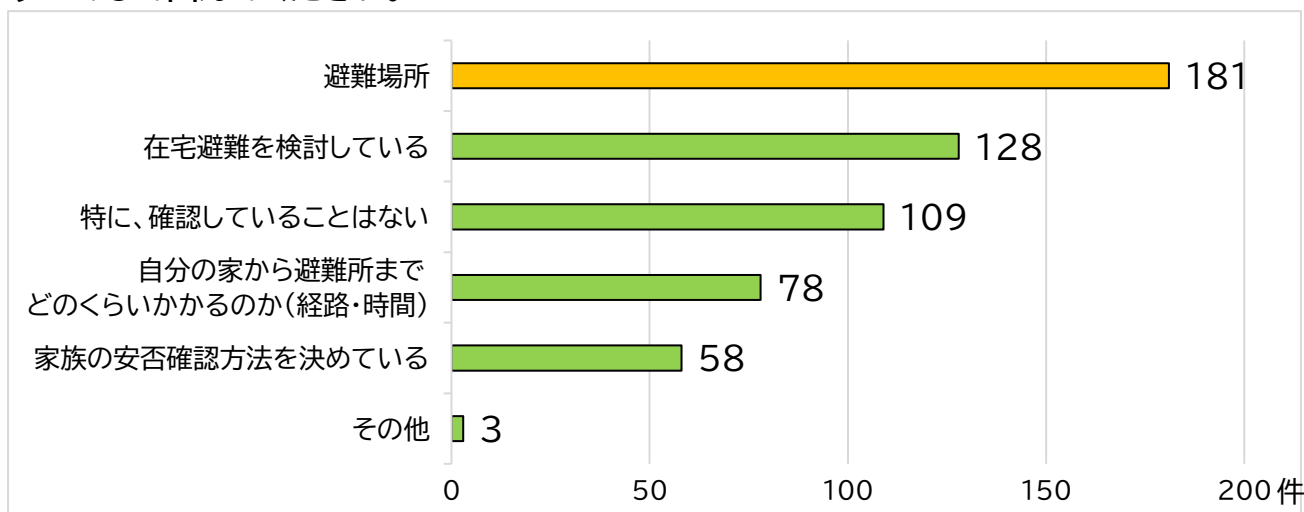
(その他の回答)

ペットも一緒に避難できるか／ペットをどうするか

◆クロス集計<Q2 年齢とQ14災害時、特に知りたい情報の関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
食料、水など確保の状況	5	18	29	30	49	52	20	6	4	213 (20.1%)
家族や知人の安否	2	29	28	30	49	41	20	6	5	210 (19.8%)
電気等の復旧状況	2	17	24	25	44	57	24	3	4	200 (18.9%)
被害の状況	4	16	26	17	37	39	21	3	1	164 (15.5%)
避難場所の状況	1	6	6	11	11	17	10	4	1	67 (6.3%)
自宅の状態	4	4	6	4	17	18	9	2	1	65 (6.1%)
救急、救助、看護の状況	2	4	6	6	12	18	6	2	1	57 (5.4%)
市の対応状況	0	3	5	6	12	10	12	1	2	51 (4.8%)
交通機関の状況	1	3	4	6	8	3	1	0	1	27 (2.6%)
その他	0	2	0	0	1	0	1	0	0	4 (0.4%)
未回答	0	0	0	2	1	0	4	0	0	7
合計	21	102	134	137	241	255	128	27	20	1,065 (100%)

Q15 避難時の行動について、ご家庭で確認しているものはありますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。



(その他の回答)

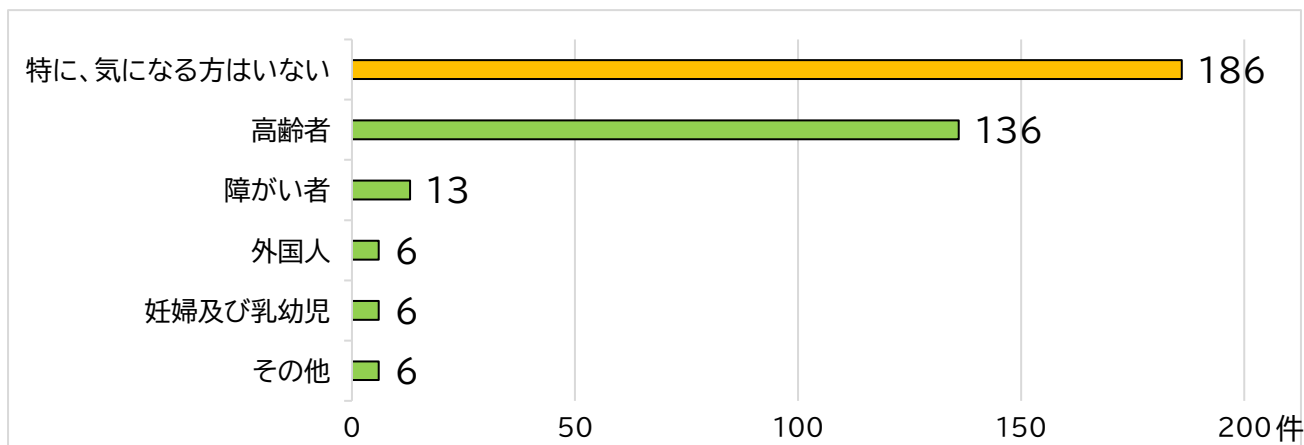
外出していても家を目指す／課題は家族の安否確認についてもっと全員で意思疎通をしておくこと

◆クロス集計<Q2 年齢とQ15避難時の行動についての確認の関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
避難場所	3	18	20	19	42	46	25	3	5	181 (32.5%)
在宅避難を検討している	1	6	16	7	29	42	21	4	2	128 (23.0%)
特に、確認していることはない	3	10	11	20	25	26	10	4	0	109 (19.6%)
自分の家から避難所までどのくらいかかるのか	1	10	9	6	20	17	12	3	0	78 (14.0%)
家族の安否確認方法を決めている	0	3	8	8	9	16	10	2	2	58 (10.4%)
その他	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3 (0.5%)
未回答	0	0	0	3	1	1	4	0	0	9
合計	8	47	64	64	126	149	83	16	9	566 (100%)

▶「特に、確認していることはない」と回答している人は、19.6%であった。

Q16 避難生活を送る際、ご近所に気になる方がいますか。あてはまる番号を1つ○で囲んでください。



(その他の回答)

※2つ以上の回答についてもそのままカウント

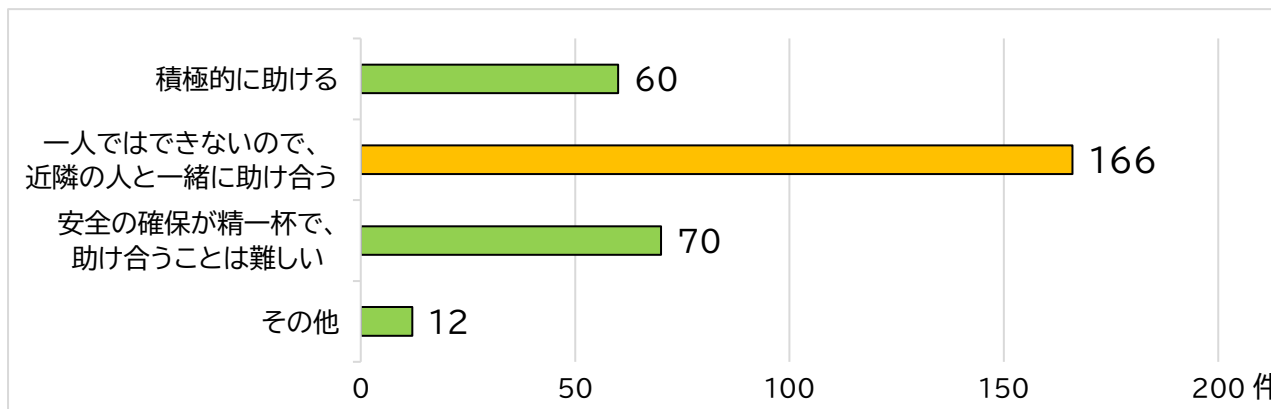
わからない(2) / 1 人住まいの方 / 近所付き合いがないので全ての人 / 親族に小さい子供がいる / お隣りの様子

◆クロス集計<Q2 年齢とQ16避難生活を送る際、ご近所に気になる方の関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
特に、気になる方はいない	6	16	22	23	33	53	23	7	3	186 (52.7%)
高齢者	1	14	16	19	41	29	14	0	2	136 (38.5%)
障がい者	0	0	1	3	5	0	3	1	0	13 (3.7%)
外国人	0	0	1	2	0	3	0	0	0	6 (1.7%)
妊婦及び乳幼児	0	4	0	0	0	0	1	1	0	6 (1.7%)
その他	0	0	1	0	3	1	0	1	0	6 (1.7%)
未回答	0	0	1	1	2	1	4	0	0	9
合計	7	34	42	48	84	87	45	10	5	362 (100%)

▶「特に、気になる方はいない」と答えた人が最多。次に「高齢者」が多かった。

Q17 災害時、気になる方(Q16 でイメージした方)を助けることができますか。あてはまる番号を1つ○で囲んでください。



※2つ以上の回答についてもそのままカウント

(その他の回答)

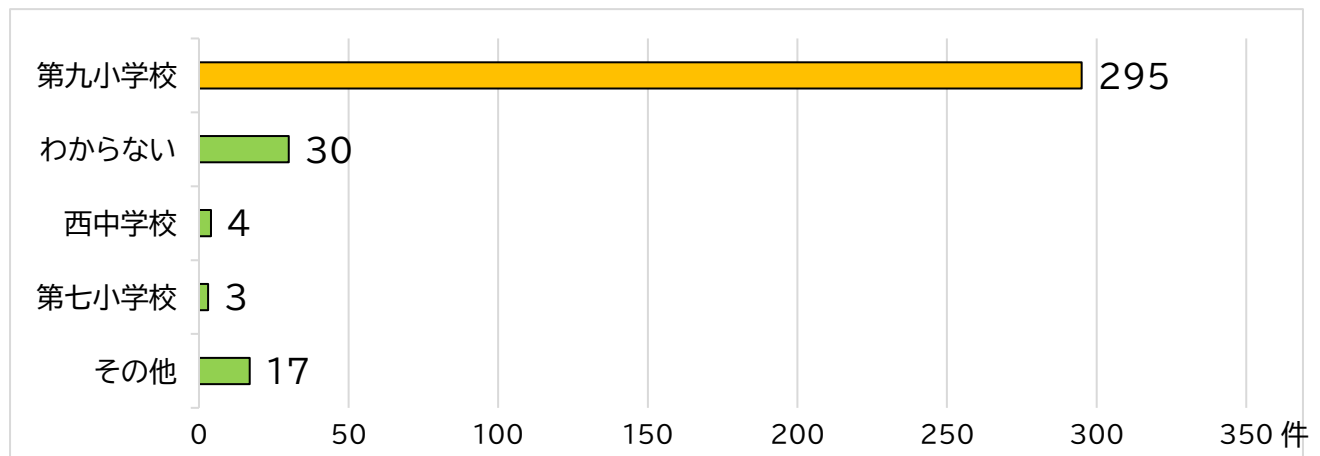
その時の状況による(3)／わからない／できる事があれば／気になる方はいない／施設に入所しているので施設に託す／ペットがいるので難しい／まずは家族の事が優先になってしまうと思う／自分も高齢者(認知症)がいるので、余裕ない

◆クロス集計<Q2 年齢とQ17 災害時、気になる方を助けることができるかの関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
積極的に助ける	2	7	7	8	19	11	4	0	2	60 (19.5%)
近隣の人と一緒に助け合う	3	17	20	21	39	42	18	3	3	166 (53.9%)
安全の確保が精一杯で、助け合うことは難しい	1	5	6	7	10	16	19	6	0	70 (22.7%)
その他	0	1	1	3	3	4	0	0	0	12 (3.9%)
未回答	1	4	7	7	9	16	4	0	0	48
合計	7	34	41	46	80	89	45	9	5	356 (100%)

▶「積極的に助ける」「近隣の人と一緒に助け合う」と答えた人が、合計で 73.4%であった。

Q18 地震による災害が起きた場合の避難所はどこを考えていますか。あてはまる番号を1つ〇で囲んでください。



※2つ以上の回答についてもそのままカウント

第九小学校	わからない	西中学校	第七小学校	その他	未回答	合計
295 (84.5%)	30 (8.6%)	4 (1.1%)	3 (0.9%)	17 (4.9%)	5	354 (100%)

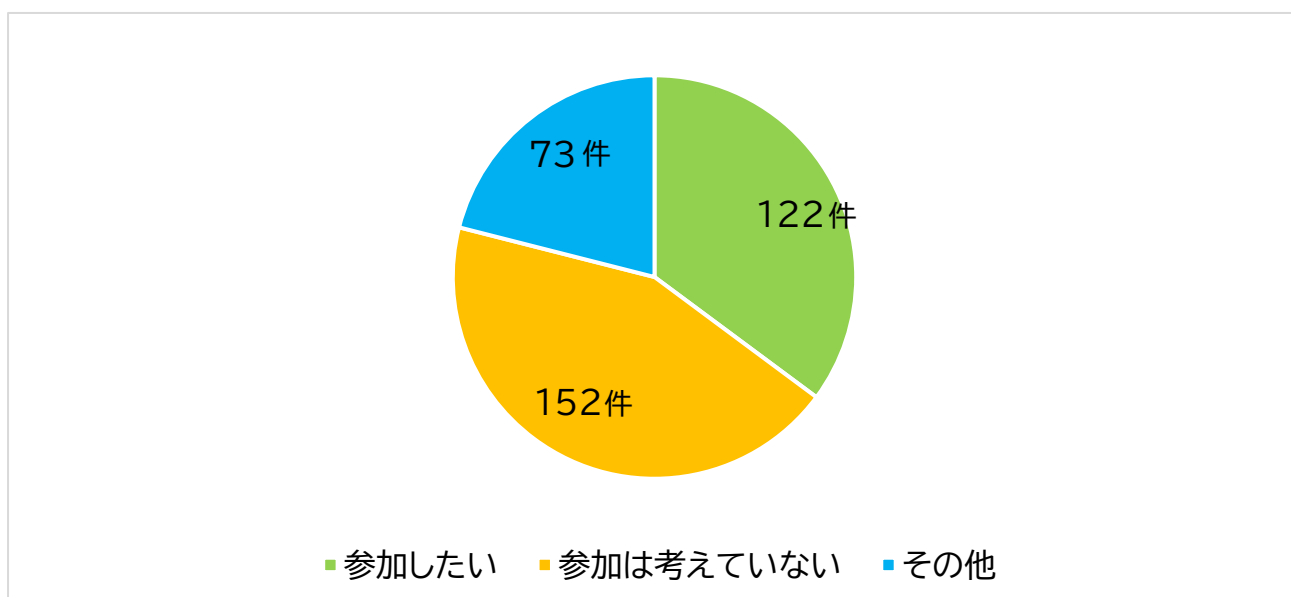
(その他の回答)

小平第11小学校(3)／小平の小学校(2)／自宅／自宅の安全が確認できれば自宅／滝山グラウンド／公園の広場／東久留米の実家または在宅／ペット(犬猫)と避難できる場所／犬がいるので避難所に行くのは難しいと思う／水、食料品の備えがある避難所を希望／第九小学校に指定されていますが体育館は道路より低く水害の時は危なくて頼りになりません

※第九小学校は、水害・土砂災害時の避難所としては指定されていませんのでご注意ください。

(参照:東久留米市防災マップ)

Q19 災害発生時、様々なボランティア活動が必要になります。参加したいと思いますか。



(その他の回答) ※:以降は一部内容抜粋

状況や体調による(29):その時の自分の状況で判断したい! / 子供の安全確保次第で

高齢・障がいなどで難しい(16):高齢者ですので足手まといにならないようにと思っています / 障がい者の家族が居りますので助けて欲しいと思います

できる範囲で参加したい(14):参加したいが子ども(小学生)と一緒にできるなら。 / 高齢なので力仕事は出来ないが出来るだけ参加したい

わからない(5):小さい子どもとペットがいるからどこまでできるかわからない

必要があれば参加する(2):福祉系の仕事をしているためそちらを優先する。

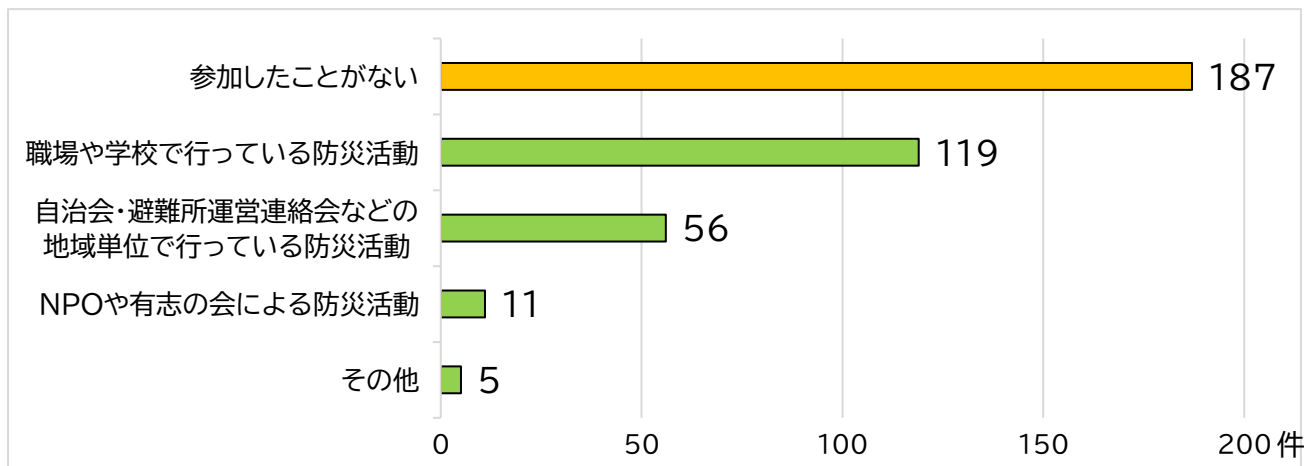
英会話が多少出来ますので少しはお役に立てるかも / 実際には無にもできないと感じています。国が出来ない災害、自衛隊も動けずとの状態で個人は絶体に無理だと思います

◆クロス集計<Q2 年齢と Q19 災害ボランティア参加への関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
参加したい	4	15	22	14	35	23	7	0	2	122 (35.2%)
参加は考えていない	3	12	13	20	30	43	22	7	2	152 (43.8%)
その他	0	7	6	13	16	18	10	2	1	73 (21.0%)
未回答	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
合計	7	34	41	47	81	86	43	9	5	353 (100%)

(防災訓練)

Q20 今まで参加したことがある防災活動は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。



(その他の回答)

とても昔に参加したので参加はあっても無に等しい／市のイベントの催し／小平市の消防署の訓練に参加／集合住宅で行った消火器・AED の使用方法／マンションでの防災管理者を勤めていた

◆クロス集計＜Q2 年齢とQ20今まで参加したことがある防災活動の関係＞

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
参加したことがない	5	16	18	23	43	50	24	5	3	187 (49.5%)
職場や学校で行っている防災活動	2	17	19	22	28	22	6	2	1	119 (31.5%)
地域単位で行っている防災活動	0	2	6	9	11	14	11	3	0	56 (14.8%)
NPOや有志の会による防災活動	0	1	0	0	4	2	3	0	1	11 (2.9%)
その他	0	0	0	1	1	2	0	0	1	5 (1.3%)
未回答	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5
合計	7	36	43	55	87	92	47	10	6	383 (100%)

▶「職場や学校で行っている防災活動」「自治会・避難所運営連絡会などの地域単位で行っている防災活動」「NPOや有志の会による防災活動」「その他」の合計は 50.5%であった。

【その他】

Q21 東久留米市社会福祉協議会へご意見ご要望があれば、自由にご記入ください。

全回答を、資料集 P.4～7 に掲載しています。

令和6年12月21日

〒203-0033 東久留米市滝山 4-3-14 わくわく健康プラザ 2階

社会福祉法人 東久留米市社会福祉協議会 西部地域担当

電話 042-471-0294(代表) ファクス 042-476-4545

ホームページ <https://www.higashikurume-shakyo.or.jp/>

この事業は、歳末たすけあい募金地域福祉活動費を活用しています。

